

幼 小 中 連 携 だ よ り

吹田市では中学校ブロックごとに一貫した学習指導の指針を示すために、幼小中一貫カリキュラムを作成し、日々の授業で活用しています。

片山中学校ブロック（片山中学校、千里第一小学校、片山小学校、片山幼稚園の3校1園）では、教育委員会の示すスケジュールに則って作成した小中一貫教育最適化プランに基づいてブロック共通の重点目標を設定し、新学習指導要領がめざす学力の向上に向けて、片山中学校ブロックの特色に応じた取組を推進しています。今年度も、子どもたちの成長を長期的な目で見守り、学びを充実させるため、ブロック合同研修会など様々な取組を実施しています。

① 「めざす子ども像」・「小中一貫教育最適化プラン(重点項目)」

片山中学校ブロックの「めざす子ども像」と「小中一貫教育最適化プラン（重点項目）」をご紹介します。各校園で連携して取り組んでまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

片中ブロックの「めざす子ども像」

◎人や社会とよりよく関わることができる子ども

◎落ち着いて学習に取り組む子ども

1. 心身共に健やかで、友だちや様々な人々と豊かなコミュニケーションが図れる子ども。
2. いろいろな立場にある人を理解・尊重し、節度と規律ある行動が取れる子ども。
3. 自ら考え、進んで学び、学習を生かすことができる子ども。
4. 多くの人と協力し、仕事をやり遂げ、自分の個性を伸ばそうと努力できる子ども。

★重点項目 小中一貫教育を通して、新学習指導要領がめざす学力の向上を図ります

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- ・コミュニケーション力の育成
- ・幼小中一貫カリキュラムの活用〔指導内容や指導方法の改善に向けて〕
- ・合同研修会（公開授業や研究会）の実施

2 グローバル人材の育成

- ・英語教育の推進とコミュニケーション力の育成
- ・ICTの利活用

3 自ら考え、行動する子供の育成

- ・自主学習の取組〔自ら考え、進んで学ぶ姿勢を育む〕
- ・「幼小中共通指導事項」を基にした生活規律・授業規律の共有〔校種を超えた子ども理解の促進〕

4 保護者・地域への積極的な発信

- ・主な学校・学年行事など、ホームページを活用した情報発信
- ・交流会や学校見学などの実施〔幼・小・中の段差を小さくする〕

多様な人と協働し、主体的に行動できる
子供を目指して

② 夏季合同研修会

令和4年度の夏季合同研修会は片山小学校を会場として実施しました。講師に吹田市スクールロイヤーの宮下幾久子弁護士（千里中央法律事務所）をお迎えして、いじめと保護者対応についてご講演いただきました。片山中学校ブロックがめざす子ども像「人や社会とよりよく関わることができる子ども・落ち着いて学習に取り組む子ども」の実現にむけて、いじめ事案の解決や予防に関する児童理解・教職員間の情報共有の方法を学びました。感染症対策のため集合形式ではなく、Microsoft Teams を利用したオンラインでの実施となりましたが、グループワークや各校の意見交流を通じて、具体的な事例検討について専門家の意見をはじめ、様々な考え方に触れることができ、充実した学びの場となりました。



（教職員の感想抜粋）

- ・私が経験したことのない事例について考えることができたので、とても学びになりました。また、周りの先生方の考えを聴くことができ、自分の中の視点を広げることができました。
- ・保護者対応は、双方の話をよくよく聞き、その途中経過も丁寧に伝えながら、子どもたちが気持ち良く登校できる道を模索していくことが大事だとわかりました。
- ・なかなか弁護士の方にお話を聞けることがないので貴重な機会でした。法律が根拠となるのでしっかりと学んでいきたいと思いました。同時に子どもや保護者への寄り添いも忘れず、難しい状況の中でもなるべく多くの人々が納得していけるよう、組織的に考慮していくことが大切だと学びました。
- ・どの事例も実際の学校現場で起こりうるものであり、学年やチーム等と必ず検討し、慎重に丁寧に対応をしなければいけないと改めて思いました。
- ・保護者対応は丁寧に話をよく聞きながら、思いに寄り添えるように心掛けたいと思います。